

# インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報に記載しないでください。

| 大学名（フリガナ）    | 学部名（フリガナ）   | 所属ゼミナール名（フリガナ） |
|--------------|-------------|----------------|
| フリガナ）ニホンダイガク | フリガナ）ショウガクブ | フリガナ）ヤマモトゼミナール |
| 日本大学         | 商学部         | 山本ゼミナール        |

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

| チーム名（フリガナ） | 代表者名（フリガナ）  | チーム人数<br>（代表者含む） | PPT 動画<br>（有・無） |
|------------|-------------|------------------|-----------------|
| フリガナ）エーチーム | フリガナ）カノウマサト | 5                | 無               |
| A チーム      | 加納聖人        |                  |                 |

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール（具体的に使用するツールを明記してください）

アンケート調査で使用したアンケート用紙

研究テーマ（発表タイトル）

国民保養温泉地における小規模旅館の集客プラン～四万温泉を事例として～

※必ず＜企画シート作成上の注意＞を確認してから、ご記入をお願いいたします。

## 1. 研究概要（目的・狙いなど）

現在、日本には3,084ヶ所もの温泉地が存在しており、宿泊者数は2011年の東日本大震災を境に、回復の兆しが見られる。また、宿泊施設数が減少傾向にある一方で、旅館の平均客室数は増加傾向であることから、一つ一つの旅館が大規模化していると言える。旅館の大規模化が進む中、「小規模旅館は減少の一途にある」（傘木,2016）と言われていることから、小規模旅館が淘汰されている現状が明らかになった。そこで、本研究では小規模旅館を「家族経営で室数10室未満の旅館」と定義し、小規模旅館でも参加可能な集客プランを提案することで、減少の一途をたどっている小規模旅館に活路を見出すことを目的とする。

本研究で事例として取り上げた四万温泉では、温泉地全体が協力体制をとり、各種集客プランが行われている。しかし、小規模旅館は資金的・人力的な不足が原因で、それらプランへの参加率が低いという現状にある。そこで、四万温泉を対象に小規模旅館の集客プランを提案する。

## 2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

日本温泉協会が、温泉の効果として疲労を回復させる「休養」、健康を保持し病気を予防する「保養」、病気の治療をする「療養」を温泉の三養と呼んでいる通り、温泉の主な効果は癒しである。そこで、集客プランのターゲットを絞るにあたり、「ほぼ毎日ストレスを感じている人の割合」を参照したところ、30代女性が最もストレスを感じていることが明らかになった。さらに、30代女性は精神的のみならず、肉体的疲労度も最も高いことが判明したため、集客プランのターゲットを30代の女性とした。

温泉地は、機能によって療養温泉地、保養温泉地、観光温泉地の3種類に分類することができる。療養温泉は病気治療や病後の保養を第一の目的とした温泉地であるが、長期の滞在が必要であるため、日常生活の中での実現は現実的でない。観光温泉地は観光活動における役割を強め、現在では療養・保養温泉と比較して温泉の質や効能などの意義は二次的なものとなりやすく、保養地としては適していないと言える。そこで、病気予防・健康保持を目的とし、2～3日程度の滞在でのんびりと保養・休養を行うことが可能な保養温泉地が、ターゲットとする30代女性の保養に適していると考えた。また、保養温泉地の中でも、特に温泉の効能と環境が優れているとされる、環境省指定の国民保養温泉地が、精神的・肉体的に疲労度の高い30代女性にとって最も保養に適した温泉地であると位置づけ、対象とした。

本研究では、事例として国民保養温泉地第一号指定の、群馬県吾妻郡中之条町にある四万温泉を取り上げた。四万温泉は、自然・人・泉質を三本柱としている。また、温泉地全体が協力体制にあり、各種女性向けのプランを継続的に行っている。これらのことから、30代女性にターゲットを絞る場合の対象の事例として、四万温泉は適切であると考えた。

### 3. 研究テーマの課題

小規模旅館は、資金的・人力的な不足が原因で、温泉地主催の各種集客プランの参加率が低いという現状。

### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

#### 露天風呂×星空プラン

小規模旅館では、露天風呂のある旅館は少ない。さらに、従業員が少ない・人件費がかかるといった理由で、夜間に風呂を開放することが困難である。そこで、四万温泉の地域全体の協力体制を活用し、露天風呂付き公共浴場の四万清流の湯様と、小規模旅館、さらに四万温泉協会様が提携することで、星を見ながら露天風呂に入ることができるということを魅力としたプランを提案する。

具体的内容としては、小規模旅館の宿泊客に対し、公共露天風呂を時間制限の下で貸切解放し、露天風呂でゆったりと星を眺めることで、癒しを提供するというものである。さらに、四万温泉協会様にご協力にいただき、顧客の宿泊する小規模旅館と公共浴場間の送迎を行っていただくことで、夜間の移動・湯冷め等の課題を解決した。

開催時期においては、県立ぐんま展望台の天体観望会の実施率が比較的高い冬季とすることで、悪天候による中止の確率を最低限に抑えることが可能であると考えた。また、悪天候により中止となった場合でも、通常よりも低価格で公共浴場の利用が可能であるため、宿泊客にはメリットが残る。このプランは、送迎を行っていただく四万温泉協会様の負担を配慮し、冬季の期間限定且つ週末限定で開催する。

### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

#### <アンケート調査>

- ① 実施日時：2017年8月・9月
- ② 対象：30代女性
- ③ 場所：銀座・六本木・品川・押上
- ④ 回答人数：61人

#### <訪問調査>

- ⑤ 訪問場所：群馬県吾妻郡中之条町 四万温泉（国民保養温泉地 第一指定場所）

⑥ 宿泊施設数：37 軒（小規模旅館 19 軒）

⑦ 日時：2017 年 8 月 30 日

30 代女性を対象に行ったアンケート調査の結果から、温泉地に対して自然景観を求める意見が最も多く、中でも星を見るプランの票数が高い結果となった。

アンケート調査の結果と、前述通り四万温泉が自然を魅力としていることを踏まえ、自然を活かしたプランを提案すべきであると考えた。また、四万温泉は標高 700m に位置することからも、星を見る環境として適していると言える。さらに、自然という観光資源を利用することで、小規模旅館の課題である資金的・人力的な問題にも配慮した。

## 6. 結果や今後の取り組み

公共浴場の清流の湯様から、まとまった集客が見込めるため、プランとして貸切にするならば、通常価格（¥500）よりも安い利用料金（¥300）で入浴可能であるというご意見をいただいた。また、小規模旅館のやまの旅館様からは、プラスしてかかるコストがない為、通常の宿泊料金でプランを実現することが可能というご意見をいただいた。

このプランで小規模旅館に宿泊した場合と、四万温泉の露天風呂のある旅館に宿泊した場合の平均宿泊費を比較しても、このプランを利用したほうが、低価格で宿泊することが可能であることが明らかになった。

以上のことから、宿泊客側のメリットとして、通常よりも低価格で心身の保養が可能ということが挙げられる。また、小規模旅館側のメリットとしては、追加コストが不要であることから、小規模旅館ならではの低価格による集客が見込めることが挙げられる。さらに、小規模旅館でも「露天風呂×星空」というプロモーションが可能になり、非日常による心身の保養効果での集客が見込めるのではないかと考えた。つまり、このプランは宿泊客と小規模旅館の双方にメリットを生み出すことができるのである。

今後の展望についてであるが、まず、四万温泉協会様、清流の湯様と話し合いを行い、具体的な実施期間を決める。その後、四万温泉協会様ご協力の下、四万温泉内の参加希望旅館を募る。参加旅館が決定次第、旅館数に応じた露天風呂の貸切日時の割り振りを行い、プランの募集人数を決定する。

## 7. 参考文献

- 日本温泉総合研究所,「日本の温泉データ」, <http://www.onsen-r.co.jp/data/facility.html> （2017 年 8 月 19 日閲覧）
- 久保田美穂子著,『温泉地再生—地域の知恵が魅力を紡ぐ—』（2008.6,学芸出版社）
- 株式会社インテージ,「ストレス発散できますか？～原因から症状、解消法まで、男女のストレス実態に迫る～」  
<https://www.intage.co.jp/gallery/stress01/> （2017 年 8 月 4 日閲覧）
- 東京ガス株式会社,都市生活研究所効用研究チーム,藤村寛子「働き盛りの疲労意識と実態」  
<http://www.jhf.go.jp/files/300333390.pdf> （2017 年 8 月 4 日閲覧）
- 環境省,「温泉利用状況経年変化表」, <https://www.env.go.jp/nature/onsen/data/> （2017 年 8 月 20 日閲覧）
- 一般社団法人日本旅館教会,「平成 27 年度 営業状況等統計調査」,  
<http://www.ryokan.or.jp/top/news/detail/57> （2017 年 9 月 2 日閲覧）
- 厚生労働省「旅館業法概要」, <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/seikatsu-eisei04/03.html>,  
（2017 年 7 月 24 日閲覧）
- 県立ぐんま天文台,「年次報告（2014 年度）」, <http://www.astron.pref.gunma.jp/etc/nenji.html>  
（2017 年 9 月 10 日閲覧）
- 傘木宏夫, 会津文雄,「小規模旅館街の現状と再生に向けた試み—中山間地における共生型地域づくりをめざして

一」

- ・ 山村順次,「国民保養温泉地の地域振興と課題」,「持続可能な保養温泉地づくり」
- ・ 日本政策金融公庫,「国内宿泊施設の利用に関する消費者意識と旅館業の経営実態調査」  
[https://www.jfc.go.jp/n/findings/pdf/ryokan25\\_0208.pdf](https://www.jfc.go.jp/n/findings/pdf/ryokan25_0208.pdf)
- ・ 中小企業機構,「中小旅館業の経営実態調査」, <http://www.smrj.go.jp/keiei/chosa/100742.html>

#### <企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経 BP マーケティング社様に作製していただく大会結果 HP に本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HP などに発表されていない)ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

---

**↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、提出してください**